



市内の気になる話題をご紹介します。

8/22.23 4年に一度 24時間ソフトボール大会

上原地区の住民の親睦を深めるため、上原区長会主催による24時間ソフトボール大会が開催されました。大会は夜通し行われて、和川区と門和佐区に分かれて勝負し、延べ264人が参加。試合は、94回まで行われ212対205で和川区が勝利しました。2歳から82歳という幅広い年代の参加者と観客は、和やかな雰囲気の中、年代を超えたふれあいを楽しみました。



小学生の部の試合でソフトボールを楽しむ子どもたち =門和佐、上原グラウンド

9/6 「火事だ〜！」 バケツ注水で初期消火

初期消火の技術の向上を目的に下呂市女性防火クラブ下呂支部主催の「バケツ注水競技会」が消防本部で開催されました。

競技は、1チーム5人編成で行い、「火事だ〜」の叫び声の大きさや高さ4メートルの注水塔に3分間バケツで注水した水量などによって競い合います。14チームが参加し、熱戦の末、森Aチームが優勝しました。



5人のチームワークを発揮し、効率よく注水する参加者 =森、消防本部

9/10 全国高校生観光プラン コンテストで準グランプリ

地元の観光プランを考案し、その魅力を競う「全国高校生観光プランコンテスト」が8月に大阪で開催され、益田清風高校が、見事、準グランプリに輝きました。(出場校は、全国の60校108プランの応募の中から書類選考を通過した10校)この日は、市長に受賞を報告。受賞した「御嶽山での高地トレーニングを活用する観光プラン」を披露してくれました。



コンテストで実際に行った寸劇仕立てのプレゼンテーションを再現する生徒 =下呂庁舎

9/14 本物そっくり！ 馬瀬で「かかしコンテスト」

「第7回下呂馬瀬かかしコンテスト」で応募された作品が、清流ふれあい会館前に10月25日まで展示されます。審査は人気投票によるもので、投票箱が展示会場に10月17日まで設置されます。作品は9点あり、どれも作成者の自由な発想とユニークなアイデアが詰まったものばかり。表彰は、11月8日の馬瀬あつたか祭りで行われます。



展示されたさまざまな「かかし」を見て楽しむ親子 =馬瀬中切、清流ふれあい会館前